## 統計センターにおける業務・システム最適化計画 概要 (参考1)

■経常経費が一億円以上の以下のシステムについて、システムの構成面、技術面、運用面、調達手法面の各視点から<u>ハードウェアのダウンサイジングによるコスト削減</u>、<u>ハードウェア資源の統合</u>及び標準化による全体合理化とコスト削減を図る。

#### 《対象システム》

IBM9672-RA6型電子計算機 及びIBM2086-A04型電子計算 機(経常調査用ホスト 及び国勢調査用ホスト)

統計センター LANシステム 国勢調査用 クライアント サーバシステム 光学式文字 読取装置(OCR)

本最適化での最適化実施内容なし (最適化計画「6.最適化対象業務・ システムに係る特記事項」参照)

#### (1)ホストコンピュータ のダウンサイジング

経常調査用ホストと国勢調査用ホストの2台のホストコンピュータ(年間約7.5億円\*)をダウンサイジングし、クライアントサーバシステムへ移行。\*平成18年度経費

#### (2)サ<mark>ーバ資源の有効</mark> 活用

1台の物理サーバに複数の 論理的なサーバ環境を複数 構築する技術を用いて、 サーバ数を現在の約90台 から約50台に集約。ホストコンピュータのダウンサイジングと合わせて機器設置スペースを約60平米削減。

### (3)共用PCの削減

セキュリティを確保しつつ 製表業務で使用している PCからもインターネット 閲覧を可能にし、従来イン ターネット閲覧用に用意し ていた共用PC約70台を削 減。

# (4)プリンター等周辺機器の統一

現在合わせて110台あるプリンター及びコピー機を複合機に置き換え台数を削減することにより機器設置スペースを約75平米削減。

#### 《実施内容》

対象システムの年間経費	現行(平成18年度額)	約10.6億	年間約3.9億円(現行経費
	将来(平成23年度試算值)	約6.7億	の35%相当)の経費削減